

加茂町会場（加茂文化ホール）

Q 5 1 :先般内原地区内水排除組合の事務局を連担地連合自治会に移管したい話が総合センターからあったが、受益者でつくる水利組合と違って、防災の色合いが濃い。従って行政の責任でお願いしたいと考えている。

A : 内原排水機場はこれまで加茂の水防の生命線として何十年にも渡って行政が事務を執りながら操作についてはポンプ操作員さんに委託してきた。合併後、組織機構の見直しをしていく中で、総合センターの見直しも議題になってきた。仮に総合センターが縮小になった場合、この事務を直接行う部署がなくなる可能性がある。他の事務局についても移管できるものからお願いできればという考えでお話した。(加茂総合センター所長)

A : 6月議会で樋門管理についてこれまで市民の皆さんにお願いしてきたが、行政も任せきりにするばかりでなく、行政が担う役割についての認識も必要ではないかという質問があった。自助・共助・公助の考え方に基づきそれぞれの役割を果たしていかなければならない。この件については改めて加茂総合センターの方から話をさせていただきたい。(市長)

Q 5 2 :市民の生命財産を守るのは、地域自主組織では負担が大きすぎる。ハード面は市の方でお願いしたい。

A : 行政ができなくなったから地域自主組織にお願いしますということはあってはならない。行政が担う役割と地域自主組織が担う役割は違うということを基準に考えていきたい。(市長)

Q 5 3 :総合センターの縮小は残念だがいたしかたない。行政と市民との距離が遠くなるのは避けられない。合併前は自治会毎に町政座談会があり、気軽に意見交換ができた。現在は町単位で主として1回行われているが意見が出にくい。そこで地域自主組織単位での開催を提案したい。地域自主組織の役員会等へお越しいただき、意見交換をしてはいかがか。市の方が地域へ出かけていくような取り組みを検討して頂きたい。

A : 全くそのとおりでと思う。確かに現在のスタイルでは限られた方としか話せない欠点がある。それを補うために、10人以上集まっていたいただき開催する「まちづくり懇談会」がある。検討していただき是非手を挙げていただきたい。総合センター縮小に伴い、行政との距離が遠くなってはならない。代替措置により迅速な対応をこまめにしていく考えである。(市長)

Q 5 4 :財政再建が1年も前倒してできたのはたいへんな成果だ。また小中学生のあいさつが非常によい。

A : 健全財政の確立については市民の皆様のご理解をいただいたお蔭と思っている。また子どもたちが挨拶をよくするのも地域挙げての取り組みの成果だと思う。(市長)

Q 5 5 :総合センター縮小後の空スペース利用を考えていかなければならない。加茂交流センターは現在の場所ではいけないと思われる。雲南市加茂健康福祉センターかもてらすへの移設も、医療と保健の融合による健康づくり拠点施設の整備計画があり、不可能だ。

A : 総合センターの空きスペースの有効活用については市民の皆様の考え方を基本とする。特に加茂は地域自主組織が14組織あり、単独で交流センターを使用している組織がない。今後地域自主組織のあり方を考えていく上で現在の交流センターの利用も含めて検討していかなければならない。(市長)

Q56：ワイヤーメッシュの貸出しについて14年間設置しなければならないなど採択要件が厳しい。自分のところは農免道路沿いに田があるが路肩に設置することを許可してもらえるか。また、採択要件が厳しいので緩和していただけないか。

A：ワイヤーメッシュの設置事業について今年も国の交付金を使った事業がある。市でワイヤーメッシュを一括購入した後、希望された申請者へ配って維持管理してもらっている。14年は耐用年数で採択要件となっているため緩和できない。設置場所については個別に相談させていただきたいが、県道敷地は占用許可が下りないと思われる。詳細については市役所農林振興課もしくは加茂総合センター事業管理課でご相談に応じるのでお問い合わせいただきたい。(産業振興部統括監)

Q57：自分が住んでいる山間部では農地の集積化が難しい。一方高齢者が細々と農地の維持管理をしている現状があるので応援していただきたい。

A：中山間地域における基盤整備については今年から雲南北地区中山間地総合整備事業で取り組む。また、それ以外の小さい規模のものについてもご相談いただきたい。(産業振興部統括監)

Q58：小中学校のスポ少・部活について、土日になると子どもの親がつきっきりで出かけてしまい、農作業等家事がおろそかになる。このような現状をどう考えるか。また加茂小学校の法面の草刈りをした時、ボールがたくさん出てきた。物を大切にするという意識に欠けるのではないか。

A：スポーツは大切だが、過熱すると子どもたちにゆとりがなくなるし、学習に影響が出る。また一番懸念しているのはスポーツ障害が出るといったことが起こり得ることである。従って、4年きざみで12年間の発達段階に応じた取組みが大事だと思っている。学校行事よりもスポ少の活動が優先されてはならないので指導者や保護者のご理解をいただきたい。大切なのは地域の中でスポーツを含めて様々な活動をバランスよく行っていくことだと思うので、皆様一緒になって考えていただきたい。(教育長)

A：確かに学校挙げて活動に熱中することは常であるが勝負にこだわるだけでなく仲間を大切にすることや目上の人を敬うことなど活動を通じて学んでいくことが大切。また物を大切にする気持ちについても子どもたちに時には手伝ってもらいながら環境整備をして、ボールを見つけやすい環境を整えるなどしてはいかかが。(市長)